

文教委員会資料

資料 新川崎地区新設小学校の通学区域等に係る進捗状況について

令和5年11月17日
教育委員会事務局

新川崎地区新設小学校の通学区域等に係る進捗状況について

1 通学区域について

(1) 長期推計に基づく現況

令和7年度の新設小学校の開校時に、大規模共同住宅（幸区新小倉2）に居住する児童全員が、新設小学校へ通学した場合の新設小学校と近隣校（小倉小学校及び東小倉小学校）の普通学級の児童数・学級数の推計値は【表1】のとおり

【表1】 (R5. 8時点推計)

学校名	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
新設小学校	児童数(人)	—	597	776	978	1,122	1,279
	学級数(学級)	—	20	26	32	36	41
小倉小学校	児童数(人)	1,050	736	727	726	738	740
	学級数(学級)	32	25	24	23	24	24
東小倉小学校	児童数(人)	760	686	652	608	560	540
	学級数(学級)	24	23	22	21	20	19

* マンション等の急増要素が年度中にあることを想定しているため、数値は年度当初とは限らない。

* 大規模共同住宅の未着工棟が最速のスケジュールで建設される場合を想定

新設小学校の児童数の急増状況が落ち着くまでは、大規模共同住宅が建設される地域を通学区域とする方向で検討（令和12、13年度頃にピークとなる見込み）

(2) 地域への意見募集結果

- ア 概要 大規模共同住宅が建設される地域を通学区域とする方向性についての意見募集
- イ 実施期間 令和5年6月28日（水）～令和5年8月4日（金）
- ウ 対象等 日吉地区に居住する者
（北加瀬、南加瀬、小倉、東小倉、鹿島田、新川崎、新小倉）
インターネット、紙媒体（日吉出張所にて回収）、電子メールにより実施
- エ 実施結果 回答数169件（賛成意見84件／反対意見67件／その他18件）
主な意見要旨は【表2】のとおり

【表2】

賛成意見	反対意見
隣接しているマンションの対象者が漏れなく通えるのが望ましい。	元々の小学校より新しい小学校の方が近くなる地域を対象に通学する小学校を選べるようになるといい。
地域の安全安心なコミュニティ形成のため賛成	閉鎖的な通学区域を設定したのちに地域の交流が生まれることは難しい。地域の分離が懸念される。
新小倉の大規模マンションの児童で1,000人になるならば、新小倉住所のみでもいいと思う。	近隣の小学校と比較して明らかに施設のグレードが違いすぎることにに対しては不公平だと感じる。

(3) 学校アンケートの実施

- ア 目的
すでに大規模共同住宅から小倉小学校又は東小倉小学校に通学している児童（1～4年生）及び家庭に対して、新設小学校の開校後も現在の就学校に通学する希望があるか確認し、開校時特例措置の要否について検討を行うことを目的として実施した。

※開校時特例措置

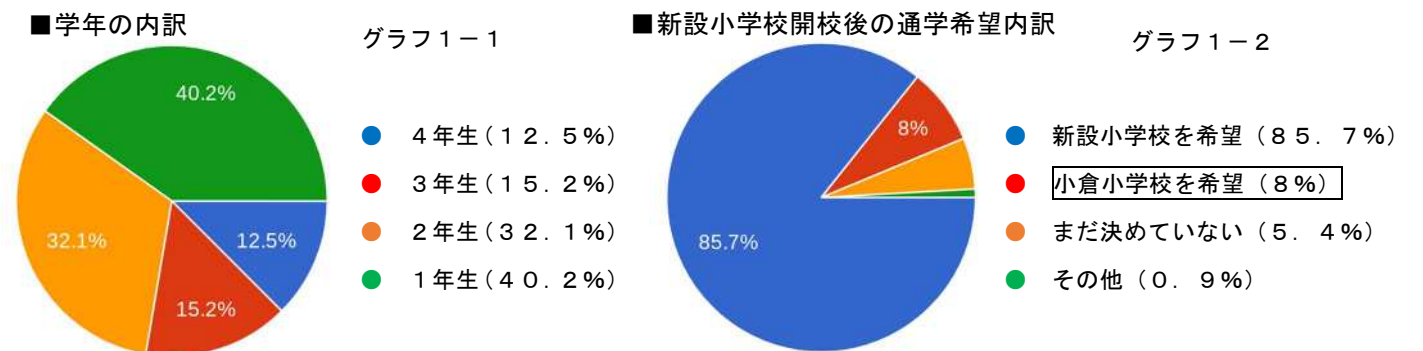
新設小学校の開校年度に限り、新設小学校の通学区域内で、令和6年度に近隣校に就学している児童（主に5、6年生）及びその弟妹に対して、面談等の通常の指定変更の手続によらず、引き続き当該就学校への就学を認める措置

各学校の夏休み期間（7月20日頃～8月27日）に回答できるよう、夏休み前に学校経由で対象者にお知らせの上、インターネットにより実施した。

イ 結果

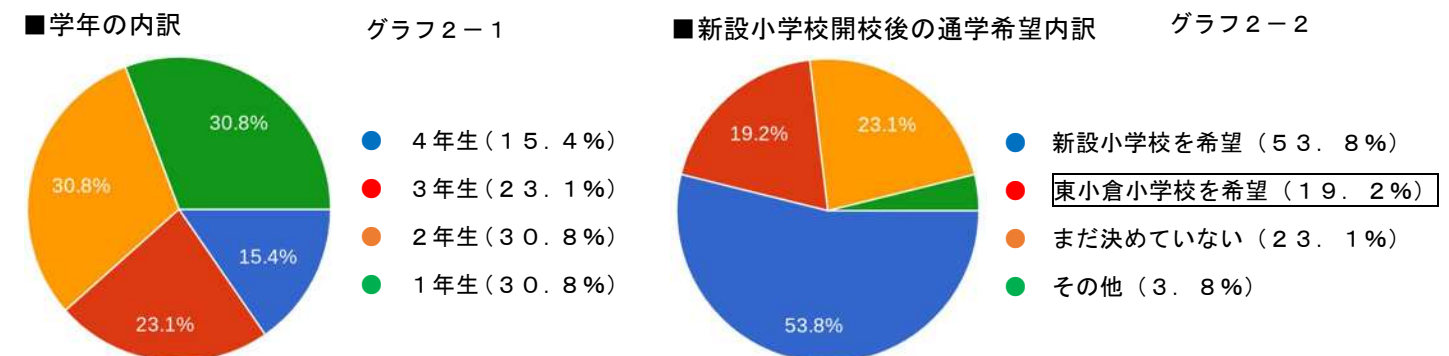
(ア) 小倉小学校

- 回答数 112件（令和5年8月末時点の対象者数：約200人）
- 回答率 56.0%
- 現在の通学校を希望する割合 8%（全ての回答者が3、4年生：9件）
- まだ決めていない 5.4%



(イ) 東小倉小学校

- 回答数 26件（令和5年8月末時点の対象者数：約30人）
- 回答率 86.7%
- 現在の通学校を希望する割合 19.2%（うち3、4年生：5件中2件）
- まだ決めていない 23.1%



ウ 開校時特例措置の検討

近隣校の児童数の推計値や受入れ可能学級数、今回のアンケートに基づく新設小学校への通学希望の多さを考慮し、開校時特例措置を講じない方向で調整を進める。

指定変更手続きについては、他校と同様に扱うものとして検討する。

(4) 地域への説明

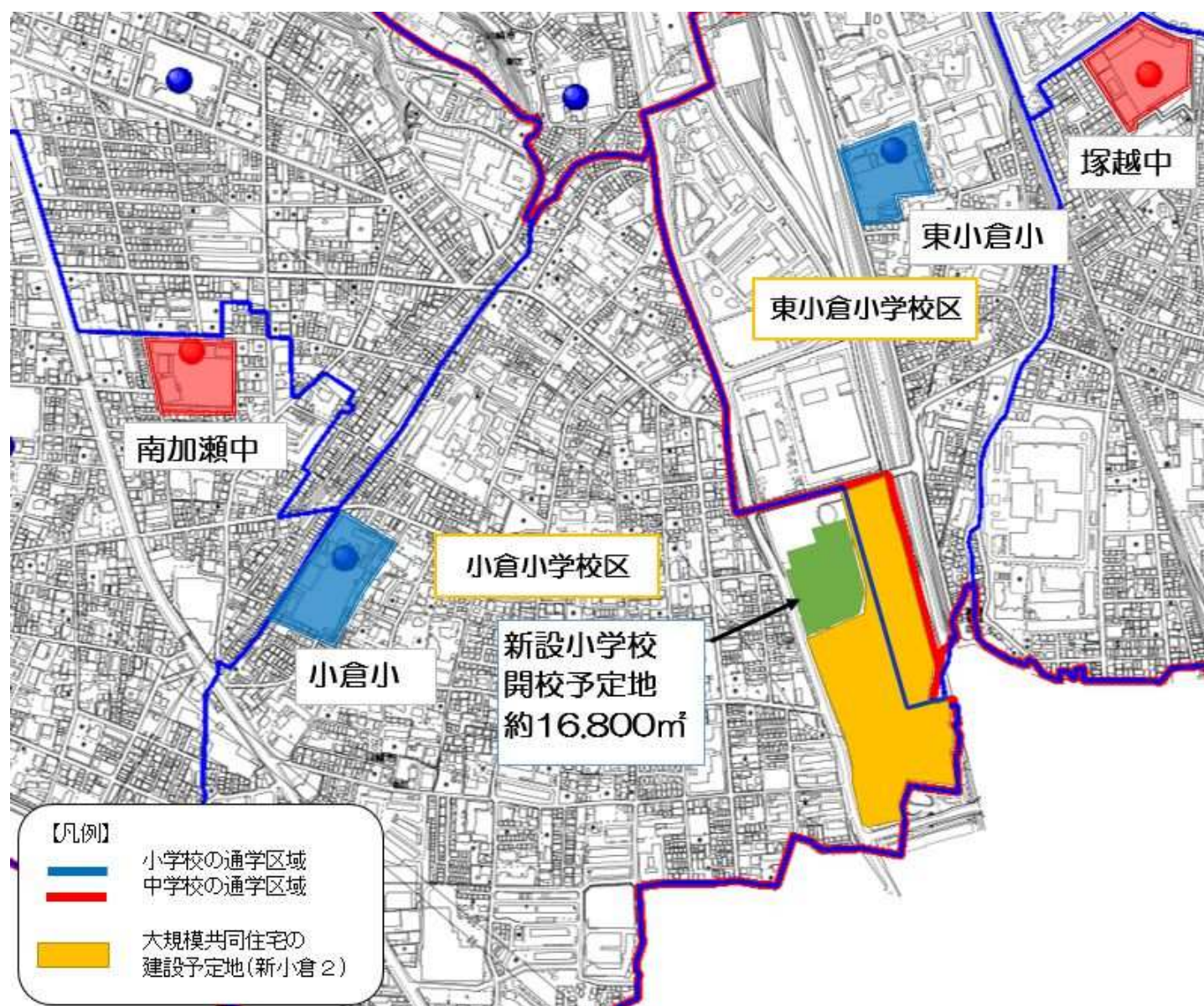
令和5年度末までに、対象に応じた説明会の開催を、少なくとも2回予定している。

- 大規模共同住宅が建設される地域を対象とした説明会
- 小倉小学校に通学する児童の保護者（主に小倉3丁目、4丁目）を対象とした説明会

(5) 中学校の通学区域

大規模共同住宅は、現在、南加瀬中学校区であるが、直近の長期推計において、同校での受け入れが可能であることから、中学校の通学区域の変更は予定していない。

【図】新設小学校の開校予定地及び現行の通学区域について



出典：川崎市都市計画基本図

2 学校名について

(1) 地域への意見募集結果

- ア 実施期間 令和5年6月28日（水）～令和5年8月4日（金）
- イ 対象等 日吉地区に居住する者
（北加瀬、南加瀬、小倉、東小倉、鹿島田、新川崎、新小倉）
インターネット、紙媒体（日吉出張所にて回収）、電子メールにより実施
- ウ 実施結果 【表3】のとおり
※自由記載において、「小倉」という名称を含む学校名を希望する声が多数あり

【表3】

学校名案	意見数
新小倉	142
新川崎	44
小倉中央／しんおぐら／クレスト／第二小倉	各3
クレストプライム／江ヶ崎／プライム／小倉みらい	各2
その他	46

(2) 児童を対象とした意見募集

- ア 実施期間 令和5年10月25日（水）～令和5年11月17日（金）
- イ 対象等 小倉小学校、東小倉小学校の児童
※大規模共同住宅から通学する児童及び新設小学校への関心がある児童
学校経由でお知らせの上、インターネットにより実施
- ウ 概要 地域の意見を踏まえた学校名案と、自由記載欄を設けたアンケート

3 今後のスケジュール

11月下旬～12月中旬	庁内検討委員会にて学校名の候補案を選定
1月中旬	教育委員会へ通学区域案及び学校名案に関する議案審議 文教委員会への報告
2月	令和6年第1回市議会定例会への「川崎市立学校の設置に関する条例」の 改正議案の提出（学校名及び所在地の追加）